



ようこそ!「ケア・カフェ」へ

「ケア・カフェ」は、まったく新しいコンセプトで行われる医療者、介護者、福祉者の集まりです。これは「カフェ」です。そう、コーヒー片手にケーキやドーナツを食べながらおしゃべりするあのカフェ。「ケア」という字がついていますので、ただ集まって雑談をするだけではないですが、雰囲気としては巷にあるカフェをイメージしてもらえると良いと思います。

さて、ケア・カフェで何をしていくかということ、それは顔の見える関係づくりと日頃のケアの相談場所の提供です。このありそうでなかった場を作るために、多少の戦略といくつかの工夫をもってケア・カフェを作っていきます。

その戦略と工夫、背景にある考えを共有することも今後のカフェの活動に大切ですので、大きな紙に書いていきたいと思っています。「いいね!」と思った方は、ぜひともカフェに参加し、一員となってください。さあ、あなたも自分のカップを持って会場へお越しください。

ケア・カフェにいかわのメリットとは?

これまでの講演会、研修会の場合

- 得られる知識は講師の持っている情報や価値観に限られる
- 話された情報のごく一部しか頭に残らない
- 聴きたいことがあっても聞けない
- 現場の問題解決には繋がりがづらい
- 新しい意見や未来への動きは生まれづらい
- 参加者間の繋がりは生まれにくい

多くの知識が身に付く

一方通行の講義では身に付く知識はほんのわずかですが参加型の会にすることで、記憶に残る確率を格段に上げることができます。

どんなことでも聞きやすい雰囲気がある

カフェではその名の通り、話し合いはコーヒーやお茶を飲みながら進められます。適度にざわついている周囲の環境もあって、とても話しやすい場になります。

多くの情報や様々な価値観・考え方を得ることができる

カフェでは職種や普段の立場を離れて互いに意見や考えを出し合うことができます。

新たな発見・未来に向けた取り組みが創造される

多様な意見、多様な価値観のぶつかり合いがあるからこそ、あらたな考えが湧いてきます。

ケア・カフェ

顔の見える関係が作られる

顔の見える関係とはただ単に「顔を知っている」ということではなく、「どんな考えを持った人かわかる」ことです。

「今」困っていることの解決に繋がる

ケアや臨床の場は待ったなしです。まさに「今」困っていることを相談し合うことができるのです。

FAX 申込書 (先着順)

御名前

施設名

職種

勤務先FAX

スタッフとして参加したい 可 ・ 不可

締切日
5/19(木)

申し込み多数の場合は
おことわりする場合があります。

F 新川地域在宅医療支援センター
AX 0765-57-0731
TEL:0765-57-0730

※FAX 番号はくれぐれも
お間違えのないようお願い致します。

医療職・介護職・福祉職のための

ケア・カフェにいかわ

主催 ■ 新川地域在宅医療療養連携協議会 コメディカル部会 事務局 ■ 新川地域在宅医療支援センター

新川地域在宅医療支援センターの
ホームページも見てね!
<http://www.niikawa-zaitaku.net/>

